

函館地域産業活性化協議会

設立による今後のメリット

民主・市民ネット 見付 宗弥

【答弁】当協議会は、北斗市、七飯町とともに設立し、現在、企業立地に係わる基本計画の策定を進めている。今後は、広域連携による誘致活動を行うことで、より効果的な企業誘致を図られると考えている。また、基本計画に国が同意すると、企業誘致セミナー開催経費や人材養成研修費用への補助、計画で想定していた企業が進出した際に、企業には課税の特例、自治体には交付税による支援措置などが受けられることになる。(市長)

高齢者など公共交通利用者のための計画と利便性の向上

無所属 竹花 郁子

【答弁】市としては事業者と連携しながらバス生活路線の確保に努めており、事業者においては、バリアフリー化や路線網の充実に努めているほか、利用環境の向上のためバス停に広告付き上屋を設置すると聞いている。今後はさらに、迅速性・定時制の確保や利用しやすい路線ネットワークの構築などが必要であり、地域公共交通の活性化施策について、計画の策定も含め、各事業者、関係機関と協議・検討していきたい。(企画部長)

函館クリーン事業協業組合の業務実態は下請に丸投げでは

新生クラブ 黒島 宇吉郎

【答弁】家庭ごみの収集運搬業務を委託している函館クリーン事業協業組合は、各組合員事業者からの職員の出向契約と車両の借り上げ契約により人員と機材を確保し、自ら業務を遂行している。このことは、認可申請時に北海道に提出された組合の定款や協業計画書にも明記されており、環境省や北海道に問い合わせたうえで、法的に問題ないという回答も受けている。改めて調査はしたいが、丸投げには当たらないと思う。(市長)

市役所本庁舎内の喫煙コーナーの削減と経費節約

無所属 三遊亭 洋楽

【答弁】喫煙コーナーについては、平成12年度の設置当初と現在とでは、健康増進法の制定など喫煙を取り巻く状況の変化や、喫煙する職員の減少傾向、全庁的な経費削減の観点などから、庁舎内の各階に概ね2カ所設置している喫煙コーナーを平成20年度には1カ所にする予定である。なお、喫煙に際しては、非喫煙者の受動喫煙による健康被害に配慮し、有害物質が廊下等に流出しないよう、周知徹底を図りたい。(総務部長)

議案審査

提出された議案を本会議や委員会でも審査しました。質疑の一部と主な議案の要旨を掲載しております。

平成20年度予算

平成20年度の市政執行方針・教育行政執行方針に基づく予算や施策について予算特別委員会の中で審査しました。

理事の設置と行財政改革について

【質議】理事を設置したことによって、今後どのように行財政改革を進めていくのか。

【答弁】本市がおかれている厳しい環境の中で、さらなる行財政改革を断行していくため、理事を設置したものであり、自らの権限と責任のもとで実務にあたることとしている。

また、市長を含め特別職が率先垂範し経費を削減していくべきであると考えており、総人件費削減の観点から、総務部長は理事による事務取扱としたところである。

行財政改革の取り組みを進めていくうえで、まずは目標を明確に設定して、それに向かつて職員一人一人が高い意識レベルを持ち、一丸とな

って取り組むことが基本となるものと考えているので、新たな行財政改革5カ年計画を策定し、総合的・計画的に取り組んでいきたいと考えている。

観光ポータルサイトについて

【質議】新たに構築する観光ポータルサイトにはどのような特徴があるのか。また、サイトの構築と管理運営はどのように行うのか。

【答弁】観光ポータルサイトは、市民参加、おもてなしといったテーマのもと、基本的な観光情報はもとより、市民や観光客おすすめの魅力的な店、グルメスポットなどのクチコミ情報や当市を舞台とした映画情報などを発信するものである。また、基本的な観光情報を英語、中国語、ハングル、ロシア語で掲載するなど、広く情報提供に努めていくことで観光客誘致に大きな効果があるものと考えている。

利用者が使いやすいと分かりやすい観光情報サイトとするため、サイトの構築については、IT分野において専門的なノウハウを有する公立はこだて未来大学に研究委託し、サイトの運営については、市内に主たる事務所を持つ企業等を対象とした企画コンペにより選定したいと考えている。

地球温暖化対策について

【質議】地球温暖化防止のため今後どのような取り組みを行うのか。

【答弁】これまで、環境配慮行動計画市民編・事業者編の配布や、各種講演会、エコフェスタ、こどもエコクラブ活動などによって意識啓発に努めてきており、地球温暖化防止の意識は市民に浸透していることと認識している。

本年7月開催の北海道洞爺湖サミットでは地球温暖化防止が最重要課題として議論されることから、本市では環境サミット2008 in 函館を開催し、環境活動家の講演やパネルディスカッション、廃油を利用したキャンドルメッセージなどを行い、地域における温暖化防止の気運を高める契機とした。

また、新たに節電やエコドライブなど身近な取り組みを掲載した手引書を作成し、全戸配付したいと考えている。

箱館奉行所について

【質議】特別史跡五稜郭跡内箱館奉行所の復元工事の進捗状況はどのようになっているか。

【答弁】平成18年の着工以来、復元工事は着実に進行し、現在は建物の土台を取り付けた段階であり、平成20年度から本格的な建築が行われる。